



こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	出井 清	幹事	伊藤 和夫	雑誌会報委員長	小林 透
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町1-2-1 トーシン千葉ビル7階 (☎ 043-245-3204)				

2011年7月第3週号

第2320回



平成23年7月15日(金) 点鐘12:30(晴れ)

- ◆ロータリーソング 『手に手つないで』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

・本日のゲストスピーカー／千葉神社 宮司 山本 栄様

■ 会長挨拶及び報告 出井 清会長

山田ガバナーより、今年度は、会長の時間には必ずロータリーの話をするようにとの指示がありましたのでお話をさせていただきます。「ロータリーの友」や「ガバナー月信」を読んで頂くとロータリーのことがかなり分かってくると思います。「友」7月号の中でガバナーの記事が掲載されていますが、その地区に行かれてそのことを話したりすると話しが弾んだりします。山田ガバナーの人柄も載っています。また、バナー紹介の記事も載っていますが、6月号(P14)には、当クラブのバナーが紹介されています。

山田ガバナーは、今年度のテーマを、「より強力な魅力あるクラブに」とされていますが、私は、少し真似て「より楽しく 誇り高いクラブであるために」を千葉南クラブのテーマと致しました。より良いクラブ作り、より楽しい例会を皆で作りたいと思います。宜しくお願いします。

会員増強につきましては、かつて在籍していた会員の後継者や後任者等、候補者がたくさん挙げられます。塩谷会員増強委員長以下全員でそういった方たちにアタックし、会員を増やしていければと思っております。宜しくお願いします。

■ 委員会報告

◆親睦委員会より (竹尾白委員長)

- ①「納涼懇親夜例会」開催のご案内
日時⇒ 平成23年7月29日(金) 点鐘18:00
会場⇒ オークラ千葉ホテル中庭
会費⇒ 大人6,000円 小学生以下1,000円
是非、ご家族やご友人の方々をお誘い下さい。
- ②「第9回国際里山の集い」開催のご案内
日時⇒ 平成23年7月31日(日) 集合09:30
場所⇒ 若葉区谷当町 (バス送迎あり)
会費⇒ 3,000円
- ③「CSRゴルフ会」開催のご案内
日時⇒ 平成23年8月24日(水)
場所⇒ 本千葉カントリークラブ
会費⇒ 3,000円

■ 幹事報告 伊藤 和夫幹事

- ・第3分区Bの各クラブを会長と一緒に訪問してきました。
- ・7/13合同幹事会報告
9月14日(火)、ガバナー補佐主催により、ロータリー情報研究会が五井グランホテルにて開催されます。全員登録とのことですので宜しくお願い致します。

■ ニコニコボックス報告

◇出井 清会員、伊藤 和夫会員

山本宮司さん、本日の卓話、宜しくお願い致します。先週入会の村田会員、おめでとございました。いろいろとご協力をお願い致します。

◇伊藤 和夫会員

こんにちは！ 本日の卓話に千葉神社・山本宮司様をお願いしましたところ、心良く引き受けて頂きました。お忙しい中、誠に有難うございました。宜しくお願い致します。

◇川合 証栄会員

前週までの「第20回春潮展」には、大勢の会員諸兄のご来場で、お蔭さまで大盛況のうちに終了することが出来ました。有難うございました。

◇鈴木 美津江会員、杉本 峰康会員

皆様こんにちは。本日は午後6時より、「慰労・激励会」を行います。当ホテル1F和室「天平の間」です。カラオ

ケをサービスして頂き、お酒も十分用意致しました。どうかお楽しみ下さいませ。

本日のニコニコボックス	6,000 円	累計	57,000 円
金の箱	814 円	累計	1,644 円

■ 出席報告 (会員数36名)

出席者数27	欠席者数 9	ビジター 1	修正出席率82. 86%
--------	--------	--------	--------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	8/15・29	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	8/2・16・23	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	7/26・8/16	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	8/3・17・31	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	—	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	8/11	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	8/18	京成ホテルミラマーレ

…本日の卓話…

演 題…『千葉神社の歴史と地域との関わり』
卓話者… 千葉神社 宮司 山本 栄様



こんにちは。妙見本宮千葉神社代45世の宮司で山本と申します。どうぞお見知りおきの程をよろしくお願ひ申し上げます。

先ず、“観光”という言葉がありますが、どういう意味かわかりでしょうか？ 光を観る。光とは何かと言いますと、その土地に根ざす伝統文化の光を観に行くのです。例えば旅行に行った時のコースの中には、必ず、お寺とか神社の参拝が入っています。何故あるのかと言いますと、何百年とそこの地域に根ざしているからです。だから、光を観に行くのです。それが観光の大きな目的です。

では、“社会”の語源はどこにあるかご存知でしょうか？ 社会の社は、神社の社、つまり社(やしろ)で会うのです。日本人の生活体系というのは、農山村・漁村ということになっていますが、基本的には農耕民族ということになっています。農耕民族にとって一番大切なのは、お天道様です。雨ばかり降って凶作となり、逆に日照りが続くとこれも凶作となります。村の決めごとを長を中心に何かをやらなければなりません。つまり、運命共同体ですので、どこかに寄り集まって話をしなければなりません。それが神社だったのです。ですから、社で会うのです。これが社会の語源です。

神道とは一体何かというと、自然に対する感謝と畏敬です。つまり、我々は、多くのものの恩恵に生かされています。それを神としたのです。火と水と書いて何て読みま

すか？ kami(神)と読めませんか？ 文明が大きく発展していった大きな要因は、火を使えること、水を飲めることです。この二つがあれば生活をする事が出来ます。そういったことで神があるのです。自然に対して感謝しましょう。つまり、何に対しても“感謝致しましょう”というのが、この神道の根幹であると同時に畏敬の念というのは、自然は怖いのです。西洋文明は、自然は、排斥するものという概念の中で生きていますが、日本人は、自然と共生するもの、自然は感謝すべきものであって怖いものという事で、だんだんと西洋文明がこの国に入ってきた結果、このたびのような原発事故が起こったのです。自然は征服出来るものではなかったのです。そのことを肝に銘じて復興発展に向かって行かなければならないと思います。

千葉神社について

御祭神

主祭神 雨之御中主大神(あめのみなかぬしのおおかみ)

= 北辰妙見尊星王(ほくしんみょうけんそんじょうおう)

北辰とは、方角の北を言います。妙見というのは、神様本来の名前ですが妙と見に分かれます。妙は、摩訶不思議の力をお持ちでいらっしゃる。見は、それをいつでもどこでも発揮して下さるという意味です。尊星王は、字の通り、尊い星の王様です。繋げて読むと、北にあって、大変力があって、いつでもどこでも力を発揮して下さる尊い星の王様、と言えど何の事だかわかりませんか？ それは、北極星です。北極星は、動かざるして天の中央に在るので、北極星の代わりに視察に行っているのが北斗七星です。妙見は車に乗りとありますが、車の役割をしたのが北斗七星なのです。

古来、いずれの国においても日月や星を仰いで宗教的な感情を抱かぬ民族はありません。特に星の中でも北辰すなわち北極星は最も神秘尊厳そのもので、方角を知る基準ともなりましたので、これを神格化して妙見様と称してきました。また、妙見尊は、人間の星(運命)や全部の方位を守護・掌握する星王であることから、道教・陰陽道や易学・九星気学・風水学と深く関わる特殊信仰として、あらゆる守護能力を発揮すると伝えられております。

千葉神社には他の神社とは違うものがあります。一つ目は、氏神です。千葉の町の中心にあって、この町の氏子と言われる人たちの守り神としての立場。二つ目は総守護神です。千葉氏という殿様がこの町を400年以上治めます。当然その町に住む武士や商人達も殿様が信じたものを信仰するようになります。氏子だけではなく千葉の町全域の総氏神様となったのです。三つ目は、妙見という信仰の全国の頂点に立ちました。この三つの要素があって、沢山の方がお参りに来られます。

現在地には千葉家三代忠常により御分霊が祀られ、その後、忠常の次男、覚算大僧正により立派な伽藍(がらん)整備がなされ、一条天皇の眼病平癒の勅願所としての功があり、長保2年(1000年)旧暦9月13日、「北斗山金剛授寺」の寺号を賜り中興開山されました。

8代目が千葉常胤という方で、鎌倉幕府を開くに当たって常に源頼朝の傍にいて参謀役を務めました。千葉



氏が宮々と千葉の地を治めることが出来たのも平の姓でありながら源氏側に付いたということが大きな一因になっていると思います。

さらに、千葉家七代常重により、1126年に御本霊を千葉城よりお遷しになり、現在に至っています。1127年から私どものお祭りが行われており、今年で第885日目を迎えます。その間、一度も休んだことはありません。8月16日～22日までの一週間と決まっております。ご存知のように昭和20年8月15日、敗戦しました。お社も燃えてしまいました。でも、次の日の16日からのお祭りは行われたのです。神輿も燃えたのですが、代わりに箱を作り、それに分身をお入れして市場町に借り家があるのですが、そこへ大神様をお連れして、22日にそこから帰ってくるというお祭りをしたのです。ですから、885年間、休んだことがないということを誇りにしております。

何故、お祭りが一週間続くのかと申しますと、先ほどの北斗七星に因んでいると思って下さい。ひとつづつ願を掛けていくのです。一週間後に7つの星に願をかけ終わって満願ということで、千葉神社のお祭りが一週間ある所以です。

昔は神仏混合だったのですが、明治2年に明治政府から神仏分離令が出されました。神か仏かどちらかを選ぶように言われ、そこで神輿祀りを残すために神社の道を歩むことに決めたのです。ですから同じ妙見様をお祀りしていても神社になっているところもあれば、お寺になっているところもあります。

千葉氏をひいている北辰一刀流の千葉周作は有名ですが、“北辰”はまさに先ほど申し上げましたように神として崇められています。

徳川家から永代200石を戴いたのですが、明治新政府になって土地を返上し、あらたに戴いたのが約3,500～3,600坪だったのですが、終戦後にまた都市計画で道路等を造るということで1,650坪ほどになりました。

私どもは、これから新しい千葉の街づくりに貢献して行きたいと思っております。

是非、いつでもどうぞお参りして下さい。

☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆



☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆

第2321回例会

日時→ 平成23年7月22日(金) 点鐘12:30

演題→ 『伝わる文章、伝わらない文章
～相手の心を動かす文章の書き方～』

卓話者→ 俳物語ライティング
代表取締役 大隈 明子様

第2322回例会

《懇親納涼夜例会》

日時→ 平成23年7月29日(金) 点鐘18:00

会場→ オークラ千葉ホテル 中庭

《慰労・激励会》

7月15日(金)午後6時から、水野謙一元ガバナー補佐、榊原行夫直前会長、小林透直前幹事の慰労と出井清会長と伊藤和夫幹事を激励する会がオークラ千葉ホテルにおいて行われました。

鈴木美津江会長エレクトより、美味しいお酒が振舞われ、杉本峰康副幹事の絶妙な司会で進行されました。

(水野元G補佐) (榊原直前会長) (小林直前幹事)



“ お疲れ様でした～ ”

乾杯!

土屋 武次会員→



“一年間ヨロシク～!”



(伊藤 和夫幹事) (出井 清会長)